

しもぐち☆雅充
SHIMOGUCHI☆MASAMITSU



京都生まれ。高校卒業後、八百屋に7年間勤め、'99年アカペラグループ「VOICES」でメジャーデビュー。'00年に解散し、'02年よりソロ活動スタート。同時にα-STATIONでDJを務める。

α STATION
FM KYOTO 89.4

SPECIAL INTERVIEW



いつでも「楽しんじゃって、
敏感でありたいと思う。」

僕はこうしてミュージシャンになった

小学校3年生から始めた野球が大好きで、高校生のときには甲子園にも出場しました。それもあってか、将来は高校の体育教諭になりたかった。けれど大学受験に失敗してしまい、卒業後は住み込みで7年間、八百屋で働いていました。おかげで野菜については、香草にいたるまで本当に詳しくなりましたね(笑)。

そんな中、ある日の配達中に音楽学校の看板を見つけたんです。当時はカラオケチームの全盛期。実力を試してみようという軽い気持ちでボーカル科に通い出したら、メキメキ頭角を現して……って、自分で言うのも何なんです(笑)。そして授業の一環でバンドを組むことになったとき、なぜか「アカペラをやれ」と言われたんです。月

曜から木曜まで、仕事の後に集まって練習して、毎週金曜には河原町阪急前でストリートライブ。2年間続いて、最後のクリスマスライブには人が通れないくらいの観客が集まってくれました。ちょっとした伝説ですよ(笑)。そのときのメンバーで、'99年に「VOICES」としてデビューを果たしました。

α-STATIONとの出会いは「VOICES」として活動しているころ。とあるキャンペーンのテーマソングに抜擢されたことがきっかけでした。その縁で、深夜のアーティスト番組を担当させてもらったのが、ラジオでの初仕事です。結局バンドは解散してしまっただけですが、スタッフの一人に「しゃべってみないか？」と声をかけられて「DJで

DJの楽しさが実感できるようになった。DJを始めたばかりのころは、正直、歌うほうが楽しかったんです。けれど、ここ最近ではしゃべることも同じくらい楽しんでます。今はメールでダイレクトな反応が返ってくる。リアルな距離感がライブと同じくらい心地いい。その感覚を大切にしたいから、オンエア中は立つってしゃべります。スタッフも楽しいだろうし、彼らの反応を見るのも励みになるんですよ。とはいえ、歌は僕の最大の武器。歌で番組にカラーを出せたら……気づいたらオープニングで歌う、あのスタイルが定着しました。ワールドミュージック限定なので、歌詞を聴いて紙にカタカナで書くという、いわゆる「耳コピ」(笑)。手間はかかりますが、嬉しいことには好評なので、最近はオープニング命!」になってますね。

好評と言えば、「リリー喜代口&ホセ雅口」のデュエット・歌謡曲「夜を焦がせ〜CANDLE☆TONIGHT〜」! 京都生まれ・京都育ちの僕にとって、「京都の皆さんに歌ってほしい」という思いを込めて制作した、大切な一曲です。またリリース後はいろんな場所に行く機会も増えました。これからはもっと活動の場を広げ、日本各地の人々と触れ合っ、多方面で歌ったり、司会を務めたりしたいですね。

SHIMOGUCHI☆MASAMITSU



DJ's Favorite Item

色違いで12足も(!)持っているという「アディダス スタン スミスコンフォート」。フィット感が気に入って、ついつい見かける度に買ってしまっただとか、「コロンビア」のバッグは1年前から愛用。両手が塞がらず、デザインも個人的でフィット感もいい。ケータイポケットなど収納力も抜群で、「とにかく使いやすい!」と大絶賛。



MOONLIGHT WALK

毎週月~金

DJ:辻野ヒロシ(月~木)、しもぐち☆雅充(金)

都会派のスタイリッシュ・ミュージックプログラム。新譜から旧譜まで、洋楽オンリーの選曲とともに海外アーティストもゲストに迎え、ココしでしか聴けない情報も盛り込みながらUK&USAのミュージックシーンをご紹介。金曜日はブラジル・アジア・アフリカ・サルサ等、ワールドミュージックやラテンフィーバーを中心にしもぐち☆雅充がフェスタ・ナイトを放出!